

鉄道に人生をかけた思い

大串駅長(紀伊御坊駅)が講演

寺内町会館

御坊市の寺内町会館で27日、紀州鉄道紀伊御坊駅長の大串昌広さんを迎えて講演会が行われた。「紀州鉄道に託す私の夢」を演題に、鉄道に人生をかけてきた思いを語った。

大串さんは、高校を卒業後、大阪市交通局に就職したが、2年で地元に戻り、

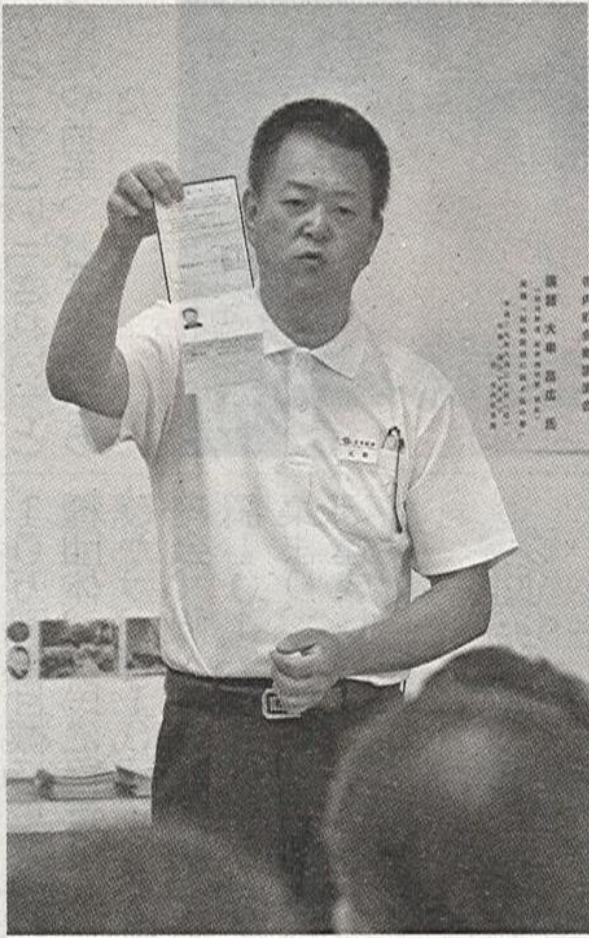
家業を手伝った。平成26年に紀州鉄道に入社、28年に学科試験と厳しい実技試験を一発でパスし、見事幼いころに抱いた「鉄道の運転士になりたい」との思いを、51歳で実現させた。

免許取得に「やるからには、会社の恥にならないようにしたい」との思いで必死

で勉強した」と振り返り、「先輩、家族の支えのおかげで、長年の夢をかなえさせてもらった。感謝している」と話した。

このあと、これから紀州鉄道をどうPRしていくかについて熱弁し、鉄道の更なる発展に意欲をみせた。

寺内町会館講演会は、会館の展示物にあわせて開かれ、今回が3回目。紀州鉄道関連の展示は、9月末まで。



免許を見せ「先輩、家族のお陰です」と大串さん